

広 報

ふじがわ

3 月 号 昭和59年 3 月 20 日 発行 No. 2 7 2

町 の メ モ

昭和59年 3 月 1 日 現在	
人 口	17,017人
増 減	-6人
男	8,364人
女	8,653人
世帯数	4,361世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課



町のこころの目標
「笑顔であいさつ明るい町に」

ゴールをめざして
元氣よく
一斉にスタート

(第一小学校マラソン大会)

町立第一小学校(中村助次校長)のマラソン大会が、2月25日(土)旧東海道などを使って、1年生の1.2kmから5・6年生男子の4.4kmの距離で行われました。

同大会は、1月28日に予定されていましたが、同校で例年になくカゼが大流行したために、約1カ月延期されました。

今年は、3人の3年連続優勝者や6つの大会新が出るなど、好成績でした。

子どもたちは、沿道で見守る父母などの暖かい声援を受けて、元氣いっばいに完走しました。

林道水大晦日線が開通 広域幹線道路として

当町の北松野水地区と芝川町大晦日地区を結ぶ「林道水大晦日線」の開通式が、両地区から深い信仰を集めている大晦日地区の芭蕉天神の祭日に合わせて、2月26日(日)両町の町境にあたる泉水地区で、当町の常葉雅文町長、野村登喜男芝川町長、小林英樹中部農林事務所次長、地元住民ら関係者約150人が出席し盛大に行われました。

同線は、両地区にまたがる52畝におよぶ造林の推進、330㎡におよ



常葉町長ら関係者によるテープカット



深沢享・望月音松さん両夫妻が渡りぞめ



両町のかけ橋泉水水橋

ぶ杉、桧などの木材資源の利用を促進すること、両地区の振興・文化交流、広域幹線道路として利便をはかり、両地域の発展に貢献することを目的に、昭和57・58年度の2カ年に亘る継続事業として、総額8,100万円(富士川町3,900万円、芝川町4,200万円)を投入し、このたび無事完成しました。

同線の開通により、山間部でも、当町と芝川町・由比町の三町が結ばれました。

一年間の学習成果を発表 まきの木大学学習発表会

「まきの木大学学習発表会」が、2月21日(火)老人福祉センターで行われ、当日出席した大学生ら約170人は楽しい一日をすごしました。

同発表会は、詩吟、民謡、生け花、書道、盆栽など10クラブにわかれ、また、全体学習などで一年間に亘り、学習を続けてきた学習成果を、クラブごと発表しあい、おたがいを高めあいながら、興味を生かして教養を高め、生きがいを確認しあうことなどを目的として行われました。



発表を熱心に聞き入る大学生

一期生の誇りを持ち 自信を持って歩みつけよう

庵原高校で初の卒業式

3月1日(木)県立庵原高校(東弘光校長)で、一期生264人の卒業式が行われました。

同校は、「庵原郡に県立高校の設置を」というみなさんの強い要望が実を結び、蒲原町吹上に昭和56年4月開校し、「努力・開拓・敬愛」の精神で、明るく粘り強い教育を進めています。

式では、東校長から卒業生を代表して高瀬浩美さん(小池)に卒業証書が授与され、同校長の式辞、来賓の祝辞につづいて、3年間の歩みをスライド上映して振り返り、その後、卒業生を代表して秋庭敬君(本通四)が惜別の辞を述べました。

東校長は一期生に「人生、社会の道を頭と心の一人あるきをし、自信をもって生きつづけよう」と感激深げに話していました。



庵原高校一期生の卒業式

二月の二輪車・歩行者の事故多発

2月町内では、人身事故5件(3)、物損事故3件(1)、合計8件(4)の交通事故が発生し、6人(3)が怪我をしました。(内は昨年)

8件の事故を路線別に見ると、国道一号线一人身事故1件・物損3件、富士川身延線一人身1件、一般県道一人身1件、町道一人身2件です。

これらの事故のうち5件の人身事故の種類は、

562点の作品が寄せられた 第一公園イラスト展

町では、今年度から4カ年の継続事業として、約1億400万円の予算で、第一小学校の裏山(1万3000㎡)に「富士川第一公園」の建設を進めています。同公園の諸施設の建設にあたり、特展望台の部

◎町長賞

町では、今年度から4カ年の継続事業として、約1億400万円の予算で、第一小学校の裏山(1万3000㎡)に「富士川第一公園」の建設を進めています。同公園の諸施設の建設にあたり、特展望台の部

◎町長賞

色があり、親しみやすい公園づくりをすすめるために、広くみなさんからアイデアを募集し、建設の原案として生かしているという目的で、小・中学生を対象にイラスト作品を募集した結果、562点の作品が寄せられました。

2月10日行われた審査会で、夢があり、イラストそのままに設計できる、次の作品4点が入選しました。



虹の塔



沢村吾朗くん
小6年(坂下)



ユーホーの塔

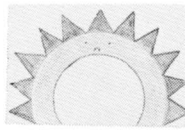


沢村 剛くん
小4年(坂下)

◎は部門賞

入場門の部

◎教育長賞



太陽の門



渡辺郁美さん
小6年(新町)

◎議長賞



富士山が見える門



海野真弓さん
小6年(塚町)

わだ い

町の

婦人会館まつりが 盛大に

富士川町婦人会(佐野節子会長 会員100人)主催の「第5回婦人会館まつり」が、3月4日(日)老人いこいの家で行われました。

同まつりは、同会の社会部など三部の一年間に亘る活動状況報告や、婦人百科などで勉強した書道、あみものなどを一堂に展示し、日頃の学習成果や婦人会活動を広くみなさんに理解してもらうことを目的に行われ、作品展示会場や屋外でのチャリティバザーは、一日中親子づれなどいっぱいでした。



力作がいっぱいの展示会場

警戒宣言時の家庭の対策 I

地震ひとくち

警戒宣言が発令されたら、①情報を確める②火の始末③学童の引き取り④家の整理⑤水と消火の準備⑥身軽な服装に着替える⑦非常持ち出し品の確認⑧危険のある地域はすぐ避難⑨一般の地域は避難の準備など。

情報を正確につかむためには、ラジオ・テレビで確認するとともに、市町村・自主防災組織の情報を確認する。津波情報などはテレビやラジオが早く、正確なので十分注意する。

「グラツキきたら、まず火の始末」を頭の中にとたき込みガスの元栓、電気のコンセントを抜く。



3月号のテーマ

ぼくもわたしも 一年生

提言者 芦川由希子さん(33) (木島)

弱い心に負けないで がんばるな中学一年生に 一小六年(本通三)若月朋子さん

2月1日、不二聖心女子学院 中学校の入学試験がありました。私は、姉が通っていることからこの学校を受けることにしました。国語・社会・数学・理科、どの科目も難かしくて「受かるかな？」と不安な気持ちでいっぱいでした。

三日に合格発表がありました。結果はみごと合格。その言葉が聞いた時は、言葉にはいい表わされられないほどうれしかったです。そして、4月9日は入学式です。6年間の小学校生活は終わり、中学一年生になるのです。お母さんは、「本当に中学生になるの？」と不思議そうにいいました。

私は、姉が通っていることからこの学校を受けることにしました。国語・社会・数学・理科、どの科目も難かしくて「受かるかな？」と不安な気持ちでいっぱいでした。三日に合格発表がありました。結果はみごと合格。その言葉が聞いた時は、言葉にはいい表わされられないほどうれしかったです。そして、4月9日は入学式です。6年間の小学校生活は終わり、中学一年生になるのです。お母さんは、「本当に中学生になるの？」と不思議そうにいいました。

部活も勉強も がんばりたい 二小六年(南町)佐野邦文くん

ぼくは4月から中学生になります。中学校は、部活もあるし勉強もむずかしくなるからとても心配です。部活は、朝もほう課後もあり、たいへんそうなのでついでにいけるようにがんばりたいと思います。特に勉強には、英語という新しい教科もくわわるので、勉強の方もがんばりたいです。



小学校に入学するときは、小さくてうれしかったけど、中学に入学するときはぜんぜんちがいます。でも、カバンも制服も新しく変わるし、教室もどんなふうになっているのか、また、教科ごとに先生が変わるというので、どんな先生が教えてくれるかとても楽しみです。

中学校は小学校と県道をはきみとなりどうしなのに、いままでも最上級生だったのが、いちばん下の学年にもどってしまいました。4月からぼくの家には一年生が、二人になります。早く4月になり、入学式をやって中学の門をくぐりたいです。

親もとを離れても がんばって欲しい 舟山町 天野恵美子さん(43)

「鳥羽商船受けるよ」 昨年12月、志望校決定のための面接が近くなったある日、中三の息子からこういわれた時私も主人も、ただ「……………」

「訓練さびしいよ、家から通えないし、つらくてさみしくて、三日もたてば、お母さんなんて泣いて帰って来るんじゃない」 「平気だよ、ミニサッカーで、

4月のテーマ

私の趣味



提言者 望月ヒデさん(67) 俣下町

最近、歳をとっても「生き甲斐」ということをいわれておりますが、ただ長生きをすることだけでなく、その期間を有意義に、そして、豊かに生きることがだと思います。

それには、自分の趣味、娯楽、日常の家庭での仕事など、自分自身のために、自分の能力や活力を役立てることがだと思います。

生き甲斐を促すための活動として、趣味のグループ、老人クラブ、まきの木大学などあります。それらに入って活動することが、生き甲斐であり、長生きをする秘訣だと思います。私は今、まきの木大学の舞踊部で、できないながらも頑張っています。

東京へ行った時だって、大丈夫だったもの」反対する理由は、何もないのです。試験も終り、自分自身で結果を見に行きたいといっていました。学校を休むことが出来ず代役を私が務めました。

がんばろっかなあ

一 小六年(本通四)坪内伸一郎くん

「入学おめでとう」 「ありがと……えつ、小学校入学にしては、ちとおそ過ぎません？」 「えつ、中学校……うっそお」 本当に、よくよく考えてみると六年たっちゃったんですね。もう過ぎたのはしょうがないので、中学に目を向けてがんばらなくちゃ。

まずは、本格的にクラブも始まり、いそがしくなります。入学を迎える前にクラブのこぼつかり考えて、頭の角の方にも勉強のことはなく、これで本当に中学生になれるのかな。でもせめて、やっと一節ついた

んだから、しっかりクラブでもがんばろう。 そうです。本当に中学生、ピカピカの一年生です。 初めての分れ目です。小から中にワンランク上がったんだから、一つでも良いから、なんでも良いから、クラブでも勉強(?)でも、何かぼくにも本気でできる物を見つけようと思えます。馬鹿の一つ覚えでいいから本気でやる物を見つけたことが第一です。そして、見つかったなら目標を決めてがんばらなくちゃ。なんせ、4月からは中学生ですから……一応。 ちよつとは、変ってもいいでしょう。

中学に向けての 期待と不安

二 小六年(清水町)白井知英くん

小学校生活もあと二週間となり、小学校最後のしめくくりの月、そして、また一カ月で中学の門をくぐることになりました。 今、ぼくが一番心配なのは、中学は今までならったこともない英語、それに科目により先生が一人ずつ変わっていくことで

す。英語はむずかしいと思うし、家でやる勉強もたくさんやらなければ、とても中学の勉強についていけないと思います。それには、努力というものが必要だと思っています。

それにくらべて中学への期待は、なんといっても部活のことです。まだなにに入るかは、はっきりとはきまってないけれど、できれば夏の新人戦にでたいと思います。これを実現するには人一倍練習をしなければなりません。練習を休んだり、なまけたりすることは、絶対にいけないことだと思えます。何を必要だと思えます。

あと残った日々をくいのないよう生活していきたいと思えます。それに、心と体をきたえて何があってもくじげず、すぐに立ちなおれる自分をきずき上げたいと思います。

これからは自分の力で

物事にぶつからなければ 清水町 宇佐美宏行さん(18)

今日から僕は社会人として、世の中に出ていくこととなった。今までの高校生活とは違った、もっと厳しい中へ入っていく、



ということで少し怖さを感じることもあるが、それは自分が、まだ全然世間を知らないという不安からのものだと思う。 社会に出れば、自分の行動の責任は自分にかかってくる。これまで、少しのことはいい加減にしてきたことが、これからは大きな問題になってしまうのだ。そんなことは許されない。

学校で体にたたきこまれた勉強以外の人間性で、相手の立場に立って物事を考える思いやり。心を持ち、何事においても努力し、どんなに苦労しても、その苦しみに打ち勝つなど、他にも人間として持つべき大切なことを十分身に付けたことが、いい加減というものの一つで、だいなしになつてしまふ。

これからは親と離れ、自分の力で物事にぶつからねばならぬが、親に心配かけることなく、社会に貢献していこうと張り切っている。

投稿者へ

- ◎4月のテーマ 私の趣味
- ◎字数 400字づめ原稿用紙一枚以内
- ◎締切り日 4月6日(金)まで
- ◎投稿先・問合せ先 富士川町役場・総務課 岩淵11番地
- ◎注意事項 匿名者の原稿は掲載しませんが、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切り日までに投稿してください。

ママさん記者が取材中



交通安全協会富士川分会 民間交通指導員会

を受けた民間の人によって構成されています。私たち町では、役員さんは両会とも兼任されているようです。

両会の主な活動は――

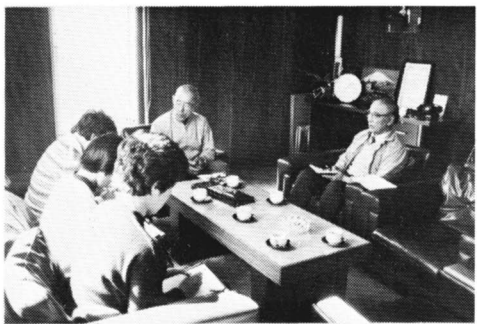
- ①朝の街頭指導
毎月1・8・15・22日、朝6時50分から7時40分の間、歩行者の横断指導、二輪車のヘルメット指導、普通車などのシートベルト着用指導を行っています。
- ②夜間パトロール
午後7時から8時の間、無燈、駐車指導を行っています。
- ③通学路の点検(年2回)
- ④マラソン大会、葬式などにおける、国道や県道などでの交通指導
- ⑤交通標識かけ替え、道路白線のぬり換え、ワッツペンの配布やポスターの掲示などで、役員のみさんの奉仕によって行われています。

レキが多く、方向指示器の出し方が遅い。
○歩道を走る車が多いが、違反となる。

また、「子どもが自転に乗る場合には免許証(小学三年生以上で、試験により取得できる)が必要で、乗るときは、できるだけヘルメットを着用させてください」と話していました。

最後に、「59年度から婦人の交通指導員を、富士川・松野両地区で2名ずつ設置しましたので、今後、婦人の立場から更に交通事故防止を推進していきたい」と話していました。

広報モニター 川崎和喜子



長谷川会長さん、望月副会長さんにインタビューする 広報モニター

春は名のみの風の寒さや……
3月1日(木)、私たち広報モニターは、「交通安全協会富士川分会・民間交通指導員会」の長谷川悠治会長さん、望月初男副会長さんをお招きし、両会の活動状況などのお話をうかがいました。

はじめに、安全協会は昭和24年自治警察が清水に移転した時に発足し、交通安全の啓蒙活動を行っている会で、運転免許証を持つ人がすべて会員です。また、指導員会は、歩行者や運転者に交通安全の指導を行う会で、町内の各地区から推薦

- ヘルメットをかぶろう。
- 最高速度30キロを守って欲しい。
- 女性ドライバーは、急ぶ

これらの活動を通し、特に原動機付自転車について、次のような指摘がありました。

ふるさと探訪

石仏巡礼(七)

室野の十三仏

町内の二カ所に十三仏が祀られている。岩淵清源院裏山、通称十三仏に岩淵間、宿本陣斎藤家の墓所と共に新旧の十三仏が造立されているのは有名であるが、室野区の虚空蔵さんの境内に見事な十三仏があることは、あまり人に知られていない。虚空蔵さんは今は廃寺となった曹洞宗万福山清泉寺の跡であり、現在お堂が残り本尊虚空蔵菩薩が祀られている。

壊したのか、或は明治初年の排仏毀釈によって首を打たれたものか、十三体の全部の頭部が欠け落ち、後代セメントで補修されており、なかでも虚空蔵菩薩と地藏菩薩の二体は頭部が欠損されたまゝで、他にも手持物の欠損も見られる。またことにおしいことである。



十三仏とは死者の追善の法事を修めるとき、その年忌に配当された十三の仏、菩薩を信仰するもので十王を基本に三仏を加えている。初七日の不動明王から釈迦如来、文珠・普賢・地藏・弥勒・薬師各菩薩・百か日の観世音、そして勢至菩薩

来・最後は三十三回忌の虚空蔵菩薩まで十三の尊い仏の導きによって、亡者は成仏されるといわれ、現在でもこの年忌は欠かさず行われている。 芦川守正

星の子



社会教育の自立(最終回)

空を行く 雲のように

派遣社会教育主事 宮川 和久

日本人は、外国人に比べて生活ぶりにゆとりがないという。このことは外国へ旅行した友人から聞いた話だから、たぶん確かなことだろう。ただ、私自身が海外へ一度も旅をした経験がないのでどこまでが確かなことなのかいささか不明瞭な点が気にならなくもない。ただ一つ確信できることは、私の生活時間帯の中で、かき込むように朝食をとり、へたをすればトイレにさへ行く時間も惜しんで身支度をすするあわただしさを考える。最近ではなるほど時間ばかりか精神的にもゆとりがないなとつくづく思う。こうした現実、何も我が家だけでもなさそう、ごくありふれた日本の一般家庭のモデルであるともいえそう。

それもこれも、組み込まれた社会機構の中で、時間的にも精神的にもゆとりかけられ、その上仕事に追いまわされ、追われつ放しのくらしの循環をあたかも当然のように受け止めていく。時、あたかも春である。行く手をさえぎるものもなく、あてさえもなく何からも誰からも邪魔をされない悠々とした時を待ちたいものである。ちょうど、きょうの空を行く雲のように。

まちの指定文化財(四) 笠被り地蔵

石造物 笠被り地蔵

昭和58年10月5日指定 指定番号18号

浄蔵山宗清寺(大獄正教住職)は、慶長2年(1595)大獄宗伯和尚によって開かれたお寺です。

同寺に、今から18年前の寛政9年、中之郷村小池(現在の大栗窪)に住み、代々同村の名主を勤め、小池長者ともいわれた田中傳四郎が願主となって建立・寄進した。総高155cmの笠被り地蔵があります。

同地蔵は福地蔵といわれ、延命地蔵として長年に亘り人々の信仰をあつめています。同地蔵の建立・寄進の動機については色々のいいたえがありますが、建立寄進者の信仰力や財力がうかがい知れる見事な地蔵であるとともに、信州の石工の手になる名作でもあり、町にとって大変貴重な石造物の地蔵です。



戸籍の窓

昭和59・2・15・2・29届出

敬称略

おめでた

区名	氏名	保護者続柄	東町二	大石啓太	吉任	長男	
相生町	志村颯子	正幸	長女	八幡町	望月智司	輝久	長男
新町	齋藤友快	佐重喜	長男	南町一	望月章宏	敏光	長男
宮町	門西陽一	正文	長男	〃	長田 愛	稔	3女
小池	太田恵子	哲哉	長女	東町一	鈴木みゑ子	六六	
				八幡町	渡邊ミヤノ	七〇	
				清水町	深澤やぶ	八〇	
				大北町	宇佐美五作	八七	
				〃	風岡年幸	三一	

かなしみ

区名	氏名	年齢
相生町	小笠原榮太郎	八〇
堺町	望月良朗	五三
新町	吉澤ギン	七九
四十九町	石川ハクエ	五九
宮町	望月秀人	〇
小池	木本周作	八三
大楽窪	西村千代子	六七
本通一	齋藤はつ江	六一
東町一	鈴木みゑ子	六六
八幡町	渡邊ミヤノ	七〇
清水町	深澤やぶ	八〇
大北町	宇佐美五作	八七
〃	風岡年幸	三一

一里塚



小学校へ入学する娘の持物の名前書きに結構手間がかかりびつくりしましたが、仕事柄、落し物が気になるので、しっかりと名前を書いてあげば落し主に戻りますが、ハンカチ・手袋等に名前のないものも多く、「これ、だれのもの」と聞いても落し主が現われないのが通常です。自分の物と気付かないのかも知れませんが、代わりが家に沢山あったり、すぐ買ってもらえるということ、あま

り心配してないからではないでしょうか。まして鉛筆や消しゴムは景品などで沢山もらい、少々無くなってもまだスペースがあるという子も多いでしょう。

町への寄付金

(敬称略)

三百万円	交通遺児対策基金へ	大田 彰一(坂下)
山崎 徳雄(清水市)		
五万円	宇佐美 孝(大北町)	
二万円	深澤みよ子(清水町)	
雑布五十枚	齊藤 ハル(小山)	
十万円	吉沢 孝芳(新町)	

社会福祉事業寄付金

善意銀行へ寄託

S 59・2・855・2・21

お母さんの

知恵袋

「老化を防ぐ生活習慣を」
女性が74歳、男性が79歳と寿命のびて、いよいよ高齢化社会が近づいてきています。高齢化社会の問題は、生活者の一つの情報として、しっかりとらえ生活設計を立てることは勿論のことであるが、私たちは、今から老化を防ぐ生活習慣をつけたものである。

生物体の組織や臓器は、働かせないでいると衰えてしまうもの。これを不活動性萎縮」といいます。運動選手も絶えず神経や筋力を動かして訓練しなければ、たちまちだめになります。私たちの頭も体も使わないでいると寝たきり老人のようになってしまいます。

健康には、運動、睡眠(休養)栄養の三本柱が必要といわれていますが、老化を防ぐためにもこの三本柱がなければなりません。

つまり、早寝、早起き、起きたらよく体を動かし、疲れたら休み、心を豊かに持つ、そして食事は何でも腹八分目を忘れるなどということですね。

顔色は、健康状態や病気の診断に大切なものになっていますので、注意したいものです。



文協俳句会

宮町	増井 冬木
連翹の夜明けの花を観て歩く	
ふるさとの思い出れんぎょうが	
黄を展ぐ	
大北町	天野 たま
波音を菰に陽まみれ寒牡丹	
餅花を軒端に咲かせ飾り白	
南町	法月 幸子
笛鳴きや倒木雨後の靄もたせ	
雲飛んで葉牡丹渦を厚くせり	
南町	影島 智子
枝打ちの一音山を下りけり	
啓蟄の土よるこぼす女鞆かな	
南町	田辺つぎ子
四脚門春一番を通しけり	
旭町	笠井みち子
意を決し白袋きつく履きしめぬ	
清水町	宇佐美裕子
冴え返る晩学詣智恵文珠	
南町	宇佐美幸子
母と子の手のひらに消ゆ牡丹雪	
南町	上野みつ子
猫の眼も児の目も覗く春障子	
南町	上野 君江
すすめられ派手な山着を春に着る	
南町	望月 洋子
翔つ鳥の影をうつして春障子	